

# 西光寺だより

第二〇八号 令和元年 八月一日発行

死ぬんじやない

仏の国に

生まれゆくんだ

(お盆揭示伝道・本願寺新報より)



‘無常の風’がいのちの日を吹き消す時、年齢や自分の願いとは関係なくこの世と別れていかななくてはなりません。いくら科学技術が発達した現代でも、避けることができないのです。

「大切な人が消えてしまった..」と深い悲しみに沈み、ただただ亡き人のことを思い、遺影や遺骨に手を合わせているのかもしれませんが。私たちの力の及ばない、いのちの行方を、誰に尋ねればいいのでしょうか。そんな時には仏さまの言葉に耳を傾けてみて下さい。

「死ぬんじやない 仏の国に 生まれゆくんだ」

親鸞聖人は、あらゆる人が等しく救われる阿弥陀さまのおはたらきを示して下さいました。阿弥陀さまのよび声を素直に受けとめる時、死はいのちの終わりではなくなります。『往生』、阿弥陀さまの国に往き、私たちを見守る仏さまとして、新たな誕生の時となるのです。

## ◆ 九・十月の行事 ◆

・ 九月 在家報恩講

・ 九月 十八 日(水)

大谷本廟墓参 (みのり講・穂積講の方)

午後二時

大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。行かれない方は千円を西光寺、又は出席される方におことづけ頂きますようお願い致します。年に一度の皆さままでの大谷本廟墓参、お参り致しましょう。

・ 九月 二十五日(水)

仏教婦人会報恩講

午後一時

西光寺本堂

・ 九月 二十八日(土)

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御法話

本願寺派布教使

高島 幸博 師